

みんなで守ろう 洞爺湖町の景観

■問合せ 建設課管理・土木・都市計画グループ(☎ 74-3007)

洞爺湖町は、洞爺湖、有珠山、噴火湾が作り出す美しい景観や歴史的に貴重な遺跡を守るために景観づくりを進めることとしました。

令和3年6月1日に洞爺湖町景観計画を策定し、約1年が経過しましたが、景観を守るために何をしたらよいのかわからないという人も多いと思います。

そこで毎月少しずつ町の皆さんに知ってほしいことを発信していきます。

第1回目は、景観計画策定の目的とまちの景観の将来像です(全6回)。

1. 景観計画策定の目的

洞爺湖町景観計画は、町民、事業者、行政が一体となって誇りと愛着深い洞爺湖町の雄大な自然が作り出す景観を守り、創り、次世代に継承することを目的としています。

2. 景観の将来像

洞爺湖町景観計画が目指す将来像は…

「湖海(うみ)と大地の物語・暮らしを大切にしたい景観のまち」

となります。

将来像が意味するところ

洞爺湖町は、観光資源にもなっている洞爺湖の眺め、私たちの暮らしの中にある内浦湾の眺め、この2つの水面の眺めが大きな景観特性になっています。

また、ユネスコ世界ジオパークの認定を受けた洞爺湖や有珠山では、火山が作り出した景観など大地の物語が目の前に広がります。

さらには、入江・高砂貝塚にみられるように人の営みの歴史があり、そこには内浦湾や

有珠山といった今と変わらない景観があったと想像することができます。

こうした景観が洞爺湖町の観光資源であり、町民の誇りとなります。洞爺湖町の景観計画では、こうした景観を大切に育てていきます。

今回はここまでです。次回は景観形成重点区域について解説します。

ワンポイント 手話



毎月、職員が今月の手話を紹介します。

第45回目は健康福祉課菊地将平です。

■問合せ 健康福祉課福祉・高齢者グループ (☎ 74-3001)



「環境・周り」

左手は親指を立てて胸の前で構え、右手は手のひらを下にして水平に円を描きます。